



早川 茂

はやかわ しげる
審議会副議長
アメリカ委員長
トヨタ自動車副会長

日米関係の強化に向けた 訪米ミッションの派遣

報告

世界の分断傾向が強まる中、経団連は、自由で開かれた国際経済秩序の再構築を追求しており、それには米国のリーダーシップの発揮が不可欠である。このような問題意識から、経団連は2024年2月21日から24日にかけて、訪米ミッションを派遣した。私が団長を務め、11社から25人に参加いただいて、ワシントンDCで、連邦政府・経済界を訪問するとともに、全米知事会(NGA)冬季会合に参加し、州知事と懇談した。

連邦政府・経済界との懇談

商務省、通商代表部(USTR)、エネルギー省、財務省、国務省を訪問し、それぞれ懇談を行う中、経済安全保障の確保やエネルギー問題など日米が共有する課題へ対処するにあたり両国関係の強化がこれまで以上に重要であることや、その際の経済界が果たす役割とその意義などについて意見が一致した。またわれわれからは、自由で開かれたインド太平洋(FOIP)の実現に向けて、インド太平洋経済枠組み(IPEF)の取り組みだけでなく、米国が環太平洋パートナーシップ(TPP)に復帰することが戦略的に重要であること

とを訴え、一定の理解を得た。

さらに、米国の主要企業の経営者をメンバーとするビジネスラウンドテーブルのジョシユア・ボルテンCEOとも懇談し、2024年秋に行われる大統領選挙を見据え、米国の政治経済情勢や日米関係の展望などをめぐり、率直に意見を交わした。

州知事・ワシントンDC市長との懇談

米国での事業活動に大きな影響を及ぼす州

今般のミッションでの意見交換を通じ、日米が連携の核となつて、自由で開かれた国際経済秩序の再構築を主導する必要があると再確認することができた。経団連は今後も、連邦だけでなく、州や市などの重層的な対話を積極的に実施し、米国とともに課題の解決に取り組んでいく。引き続き、会員企業のご理解とご協力をお願いしたい。

との関係強化のため、NGA冬季会合に参加するとともに、ヘンリー・マクマスターサウスカロライナ州知事、J・B・ブリツカーイリノイ州知事、ジム・ピレンネブラスカ州知事、ローラ・ケリーカンザス州知事、グレン・ヤンキンバージニア州知事らと個別に面会した。また、ミュリエル・パウザーワシントンDC市長を敬訪問した。

各会合では、米国各地において、日本企業が長年にわたり直接投資による雇用創出等を



ブリツカー イリノイ州知事(左)と筆者



ボルテン ビジネスラウンドテーブルCEO(右から6人目)



ヤンキン バージニア州知事(左から4人目)



商務省との懇談